

“市制施行30周年” 記念

入場無料・出入り自由

# 魂が号泣する感動映画 字幕付き

うまれる命、旅立つ命……。いのちに向き合う家族を描いた、笑いと涙、愛の物語。

午前10:30～ 『うまれる』 (104分)



命と家族、絆の物語。

40万人が涙  
全国で自主上映会  
開催中!!

うまれる  
～不妊と流産を乗り越えて～  
2010年 モントリオール  
世界映画祭入選  
第16回 サンアントニオ  
映画祭入選

うまれる

© 2010「うまれる」パートナーズLLP



ナレーション：つるの剛士 (2010)  
子どもたちの出産に立ち会い、命の大切さを実感し、育児休暇で家族の絆も深まりました。自分自身が感じてきた経験をもとに、ナレーションに挑戦させていただきました。全ての方に、命の大切さを感じてほしい映画です。ここにいる奇跡 出会えた奇跡 うまれる奇跡 すべての命のミラクルに改めて感謝。

午後13:30～ 『ずっと、いっしょ。』 (123分)



何があっても大丈夫。

NHKや  
各種新聞等でも  
話題!!  
文科省・厚労省が  
推薦

ずっと、いっしょ。

© 2014 IndigoFilms



ナレーション：樹木希林 (2014)  
家族とは、大変な時も、喜びの時もある。人間はそういうものですが、問題を抱えながら生きていくものだと思います。本作にはたくさんメッセージがつまっています。観る人には、それを「心で」感じて欲しいと思います。



平成30年 **8月25日(土)** 開場 10:15～

はつかいち文化ホール **さくらびあ 大ホール**  
〒738-8509 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号  
※駐車場には限りがあります。ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。

**ホワイエではイベント・販売コーナーあり** ※当日催し物が変更となる場合があります。ご了承ください。  
わたがし、ポップコーン、軽食、ドリンクなど。出店者募集中。詳しくはお問い合わせください。



お問合せ：廿日市市人権・男女共同推進課 TEL 0829-30-9136 FAX 0829-32-1059

託児・親子室あり

※託児(未就学児)1人100円。8/17(金)までにお申し込みください。

\*裏面もぜひご覧ください。 主催：男女共同参画市民フォーラム実行委員会・廿日市市



# 子宮出身のすべての人へ贈る感動のドキュメント

何もない人生なんてない。

誰もが向き合わなければならない課題を持って生きている。。。

企画・監督・撮影 豪田トモ

“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画

## うまれる



子育てに悩むすべての人たちへおくる物語

## ずっと、いっしょ。



### いのちの神秘、出産への期待と不安、誕生の喜び

両親の不仲や虐待の経験から親になることに戸惑う夫婦、  
出産予定日に我が子を失った夫婦、子どもを望んだものの授けられない  
人生を受け入れた夫婦、完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。

命を見つめる4組の夫婦の物語を通して、自分たちが生まれてきた意味、  
命の大切さ、そして「生きる」ことを考えるドキュメンタリー映画。  
2010年の劇場公開後、40万人以上の方にご覧いただいております。

この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、  
出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。  
親に、深く、深く、感謝した。

乙武洋匡(作家)

私に関わってくれるすべての人に  
『本当に本当にありがとう』と言いたくなりました。  
また政治家という立場からも何ができるか考えさせられる映画でした。  
小淵優子(衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

すべてのプレパパ、イクメン予備軍は  
この映画で“パパスイッチ”をONせよ!  
安藤哲也(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表)

私は子供を産まずに45歳になりました。  
でも、それは欠陥ではないよ、と言ってもらえた気がしました。  
そう思ったら涙が止まりませんでした。

さかもと未明(漫画家・タレント)

### 家族の絆とは?家族と共に生きることは?

血のつながりのない息子を育てる事になった父親、  
長年連れ添った妻に先立たれた男性、虎ちゃんのその後の苦境と成長。  
それぞれの課題に「向き合う」3組の家族の物語。

「家族の絆」ってなんでしょう?

家族とともに生きてどうということなのでしょう?

さらに「家族の絆」にフォーカスした『うまれる』シリーズ第二章。

私には経験のない事、これから経験するかもしれない事、  
これから必ず経験する事の3つの話でしたが、  
胸がしめつけられたり、温まったり。。  
「愛」をいろいろな角度から考えさせられました。

くわばたりえ(タレント)

手に入れて、手離して。出逢って、別れて。  
産まれて、死んで、また生まれる。  
なんてステキな物語なのでしょう。  
出演者のみなさんの交差する愛。  
そして、制作側の愛あふれるまなざし。  
観終わって、「ありがとうございます」と呟いちゃいました。

東ちづる(女優)

家族とはずっと一緒にいることは出来ない。  
でも、全力で命をかけて愛することで、ずっと一緒にいれるんだ。

鈴木おさむ(放送作家)